

第24回 水の都とやま 取材の旅

参加記者の声

開催日時／令和元年5月26日(日)～27日(月)
協賛／池田屋安兵衛商店、梅かま、島川あめ店、しろえびせんべいファクトリー(ささらや立山本店)、月世界本舗(公社)とやま観光推進機構、富山観光遊覧船、富山市郷土博物館、富山市商工労働部観光政策課、ホテルグランテラス富山(五十音順)

●水谷 智さん

／くわな新聞(三重)編集長

いろんなツアーがあり、発信するのが簡単なためか、実際に訪れてみると「あれ??」となるパターンが多いのが最近の観光事情のように思えます。しかし、富山は土壌がしっかりといて、歴史や打ち出したいたいのをきちんと持つておられる所がたくさんあることを、今回のツアーで実感しました。

●山田 成和さん

／くわな新聞(三重)営業本部長

松川遊覧船に乗船しましたが、桑名にも同じような観光船がイベントの時にだけ運航しています。こういったものを継続していくためには、街全体を上げてのパワーが必要なのかなと感じました。

●奥野 達也さん

／くわな新聞(三重)専務

行政とうまくタッグを組まないと難しいのが観光事業ですが、富山はとて

うまくやっておられる。民間が元気だと行政も元気になる非常に良い例を見せていただき、大変勉強になりました。

●岩下 志保さん／双葉社(東京)

今回、初めて富山へ来ましたので、紹介いただいたどれも魅力的でしたが、皆さんすごく謙遜しておられるような感じを受けました。松川の遊覧船はお昼にもシャンパンなどお酒を飲めるような雰囲気があるか、自然もいっぱいだし、もっと楽しめるかなと思います。

●大久保 有満子さん

／日本旅行作家協会会員(広島)

今まで何度かブレスツアーなどで富山へ伺ったことがあります。駅から入ってきたのは今回初めて。新幹線であつた時に、花が飾られ、石畳があつてというヨーロッパの街を思わせるような街並みが見えたのがとても印象的でした。お洒落で本物志向のお店や建物もあり、今後の富山が楽しみです。



●大井 友彦さん

／JAPAN WEB MAGAZINE(東京)

あちこち行かせていただいています。最近はどこも大手が入っていますね。その点、富山は個人の方々がとても頑張っておられ、独自の魅力がたくさんある。その発信の仕方などで、私たちがお手伝いしていけたらと思います。

●本山 芽瑠さん

／IMATABI(東京)編集長

学生向けのメディアですので、若者目線で拝見しましたが、松川遊覧船で非日常体験ができたのはすごく楽しかったです。「葉の富山」だけあって、ヘルシーな食べ物がたくさんあり、女子旅にも

びったりだなと思いました。

● 本田 千春さん

／LINEEトラベルJp(東京)

私どものメディアでは「時短」の旅をコンセプトにしていますが、1泊2日でこれだけ楽しめるのは素晴らしいですね。歩いて回れる空間にもいろんな魅力が点在していて、富山にしかない魅力がぎゅっと詰まっていたので、時間がないうちでも十分楽しめると思います。

● Cho Yumi さん

／Tsunagu Japan(東京)

アメリカ、カナダ、イギリス、オーストラリアの英語圏に、日本について発信しています。東京、大阪は人気があります

が、地方はまだ知られていないので、魅力をどんどん紹介していきたいです。

● ベンジャミン・ジョーさん

／NAVTIME JAPAN(東京)カメラマン

街の大切な自然環境である川の一部を有効活用し、遊覧船を運航しているのはとても素晴らしいですね。ヨーロッパやアメリカなどの人々は、アウトドアのアクティビティに非常に関心を持っているので、魅力的な観光資源だと思います。また、今回体験させていただいた富山ならではの「歴史」や「食」をもっとアピールしていったらいいですね。

● ラウラ・ロスさん

／昭文社 DiG JAPAN(東京)

欧米の目線で考えながら見ましたが、遊覧船はすごく楽しかったです。できるかどうかわかりませんが、もう少しコースを長くしていただくとか、お城の前を通るとか、富山のきれいな街並みが見えたりすると、もっといいですね。アジアの人たちに比べ、欧米人が日本に来るにはお金がかかります。必然的に行く場所を厳選しますので、なぜここがいいのか、どんな特徴があるのか、ということが一番に考えます。今回、初めて富山へ来ましたが富山と薬のつながり、富山ならではの食べ物、美しい景色など、独自の魅力をたくさん知ることができ、本当に良かったです。

